

今月の記事

理事長挨拶

クリスマス

家族の会・後援会

リレーエッセイ

今月の愛の園



理事長

宮崎靖子

「巳年に寄せて」

あけましておめでとうございます。
「年の初めのためしとて・・・」。愛の園集会の場に、温い歌声が一杯に広がると、本当に感動します。そして皆の祝福を心から祈ります。
今年巳年です。卒園生の子から、金貨を啜えた可愛い白いへびの飾りを貰いました。
へびは、人々に財運を振舞うものとして大切にされてきたと言われているのです。それで金貨を啜えてやって来たへびさんに納得！
又、へびは脱皮を繰り返し成長していくことから、「無限」の意味を持ち、無限の知恵と繁栄をもたらす縁起のよい象徴とされているのだそうです。

財運を振舞ってくれるし、皆を成長させて、知恵と繁栄をもたらしてくれるとは、なんと素晴らしい年を迎えたものかと「へび」の置物をしみじみ眺めました。

脱皮を繰り返す毎に成長していくへびのように、私達も、自分を縛りつけているしがらみ、過去のを脱ぎ捨てて、「新たに生かされ、今求められているものに目を向け、耳を傾け、心を込めて行動する」、そんな脱皮を呼び

掛けられている年ではないかと思えてなりません。

それも日々脱皮して、らせん状でいいですから、お互い成長していきたいものですね。へびは長い身体を巻いていますでしょう。それも合わせて思うのです。

日々新たな思いでいたい。愛の園大家族。今年も、いつも私達と一緒にいてくださる神様に守られて、支え合いながら、有難うを交わせる感謝の日々でありたいと、心から願っています。

皆様、今年もどうぞよろしくお願い致します。



お正月のお楽しみ



祝賀朝礼で新しい1年が始まりました

クリスマスのご報告

施設内や各ユニットがクリスマス一色に染まって迎えた24日のクリスマスイブ。厳かなキャンドルサービスの後は各ユニットを巡ってキャロリングが行われました。それぞれのユニットでは趣向を凝らした、見事なクリスマスの飾り付けがされていました。私が伺った1階のユニットでは、入居者の皆さんがローソクを灯して迎えてくれました。リビングで「きよしこの夜」を歌ってクリスマスの訪れをお伝えし、入居者の皆さんも一緒に歌っていただきました。歌い終わった後の皆さんの笑顔がとても印象に残っています。

25日はクリスマス聖劇本番の日です。出演する職員と入居者の皆さん達は、控室ではわいわいと賑やかに話をされていました。いざ衣装に着替えると緊張されているのが伝わってきました。私自身も黒子を努めな

ければならなかった為とても緊張しました。

そして聖劇が始まり、25分ほどの劇も「あっ」と言う間に過ぎ、楽しく終えることが出来ました。99歳のマリアさん、79歳のヨセフさんはじめ出演いただいた入居者・職員の皆さん、音楽を担当していただいたコール・ステファナの皆さん、ありがとうございました。



キャロリングのひとこま



聖劇のオールキャストで記念撮影



家族の会・後援会からプレゼント

昨年12月25日、愛の園後援会、愛の園家族の会からのクリスマスプレゼント贈呈式が行われました。クリスマスのお祝いで入居者の皆さんが集まる中、宮崎靖子理事長が代表してプレゼントを受け取りました。

家族の会からは、センサーマット、ゲーム機(Wii U)と「太鼓の達人」というゲームソフト2セットを会長の滝本秀暉さんより贈呈いただきました。センサーマットは、入居者の転倒防止等に役立てさせていただきます。

ゲーム機とゲームソフトは、直接身体を動かすことにより楽しむことが出来るものになっており、機能保持訓練としても活用できると期待しています。今後、ゲームソフトを増やして、更に多くの入居者の皆さんに楽しんでいただけるようにしていく予定です。

愛の園後援会からは、ショートステイユニットを対象に薄型テレビ10台を、監事の中井美智

子さんより贈呈いただきました。後援会では、以前にも薄型テレビ10台を寄贈いただいており、今回の薄型テレビをいただいたことで、全てのショートステイ用居室に薄型テレビを設置することが出来ました。

家族の会の皆様、後援会の皆様、素晴らしいプレゼントをありがとうございました。大切に使用させていただきます。



早速、太鼓の達人を楽しむ皆さん



左から順に、中井監事、宮崎理事長、滝本会長

リレーエッセイ(8) 『 読書 』

介護職員

山本奈緒美

「趣味は読書です。」という必ずと言ってよいほど「すごいね。」「えらいね。」等々の返答が来ますが(悪い気はしません)、自分にとっては皆さんがテレビや映画、DVD観賞して楽しむことと同義だと思っています。

幼い頃から活字に親しんできた私が大好きな作家が京極夏彦です。きっかけはたまたま家にあった一冊の文庫本でした。文庫本と言ってしまえば恐ろしいほどのボリューム(1000頁弱、2頁見開き4段の活字の羅列)、そして何と言っても一番興味をそそられた表紙の絵とタイトル。私の闘争心?に火がついたのは言うまでもありません。

時間を見つけてはコツコツと目を通し、やっとの思いで読破した時の達成感。かくし

て私の図書館通いが始まりました。一人5冊までという制限にも負けず、足繁く通いました。困ったことに刊行順に読まない気が済まない性格のおかげで、手ぶらで帰ることもしばしばでした。そんな困った病?は現在進行形。作者を替え、ジャンルを替え続けています。その昔、毎週月曜夜8時に水戸黄門を視聴していた影響でしょうか?時代小説も大好きです。

あさのあつこの時代小説は心温まり、ホロッと涙する読後感爽やかな一冊です。書痴と呼ばれる域にまで達することはできませんが、これからも読書を楽しみたいと思います。皆さんも是非一冊、手にしてみませんか?

次号は8ユニットの小林志麻さんにリレーします。よろしくお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

1 ~ 2月の愛の園

- 13(日) 日曜礼拝
- 15(火) ひまわり会
- 17(木) やまびこ会
- 18(金) 社協ボランティア来園
- 20(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 22(火) マリア会
- 23(水) 手芸サークル 歯科診療
- 24(木) やまびこ会
- 27(日) 日曜礼拝
- 29(火) マリア会
- 31(木) やまびこ会

- 3(日) 日曜礼拝
- 5(火) マリア会
- 7(木) やまびこ会

編集者から

明けましておめでとうございます。

昨年もボランティア、家族の会、後援会の皆様はじめ多くの方々にご支援・ご協力を頂きありがとうございました。

元旦の朝はお節料理を入居者の皆さんがおいしそうに食べておられ、午後からは各ユニットで書き初めやゲームなどをして、職員も一緒に楽しく過ごしました。

年々昔の遊びやお正月の雰囲気も感じにくくなってきていますので、このような時間は大切にしていきたいと思います。

皆様にとってよりよい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。(!)